

合併趣意書

このたび、掛川信用金庫と島田信用金庫は、代表者間において協議を重ねた結果、平成31年3月を目処として、対等の立場で合併することに合意いたしました。

掛川信用金庫は、明治12年に二宮尊徳の弟子である岡田良一郎により、報徳の理念に基づき設立された日本最古の信用金庫で創立138年になります。また島田信用金庫は、昭和4年に吹きすさぶ恐慌の中、金融の道を閉ざされた地元の商業者有志により、相互扶助の理念のもと地域のために設立された信用金庫で創立88年になります。両金庫は信用金庫の原点である、地域に密着し地域経済に貢献するという共通目的の下に今日まで歩んでまいりました。

今後、金融機関を取巻く環境は、人口減少や少子高齢化、さらには産業構造の変化等により、厳しさを増すことが予想されることから、信用金庫においても資産の健全性と収益力の向上が今まで以上に求められ、持続的なビジネスモデルの確立が急務になっています。

このような状況下、これまでに培った両信用金庫の強みを活かし、より一層お客様に信頼され、地域に必要とされる金融機関となるためには、隣接する2つの信用金庫が合併し、収益体質を強化することによって、健全かつ強固な経営基盤を構築することが、最良の方策であるとの認識で一致いたしました。

今回の合併の目指すものは、次の通りと考えております。

- 1.本合併を機に、2信用金庫の店舗網（磐田市から静岡市に57店舗）を有効に活用することにより、より一層地域のお客様の利便性向上が図られることとなります。
- 2.本合併により、地元中小企業に対する本業支援を強化することで、中小企業の育成、地域経済の発展に今まで以上に貢献できることとなります。
- 3.本合併により、両金庫が保有する専門能力の結集により総合力が高まり、コンサルティング業務の強化、お客様のネットワークづくりの拡大等が図られ、より多様化・高度化するお客様の要望に迅速かつ的確に応えることが可能となります。

以上のように、合併後発足する信用金庫といたしましては、更なる経営体質の強化を図り、地域金融機関として確固たる経営基盤を構築し、お客様の利便性向上と地域社会の発展に貢献していく所存であります。

今後は、順次所定の合併手続きを進めてまいりますとともに、お客様をはじめとして各方面からのご協力を得て、一日も早く今回の合併の効果が発揮されるよう、役職員一丸となって努力する所存でございますので、格別のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年11月28日

掛川信用金庫 理事長 伊藤 勝英
島田信用金庫 理事長 市川 公